

科目名	人文地理学 Human Geography						
科目担当者	朝日 克彦 ASAHI Katsuhiko						
単位数	4	配当 年次	2 年	授業形態	講義	開講学期	通年
履修学部・学科 [区分]	法学部・法律学科〔専門教育科目 自由科目〕 経営学部・経営学科〔専門教育科目 自由科目〕					ディプロマポリシーとの関連	(4) (6)
授業の概要	教職課程，地歴科及び社会科の教科科目である「地理学」について概要を俯瞰してから，各論としての「人文地理学」を様々な主題によって解説する。 また地域を把握するごく基本的な地理学手法を講義内で実習し，資料の扱い方や表現方法を身につけ，社会科，地歴科教員として最低限必要な地理学・人文地理学の基礎と地理的技法を身につけることを目的とする．講義内でフィールドワークも実施する．						
授業の到達目標	教職課程，地歴科及び社会科の教科科目である「地理学」「人文地理学」について，まねばなく一通り取り扱い， ①地域の成り立ちを理解し，現状を正確に把握できる． ②地図の読図や地図での表現など，地理で求められる基本的な技能を扱える． ③地域の現状を正確に把握したうえで，問題解決の道筋を描ける．						
授業計画・内容・授業外学修	1	イントロ 講義の進め方，受講方法			16	地球儀と地図	
	2	地理学の到達目標			17	身の回りの地図	
	3	地理学からみる世界			18	地形図の読図：等高線を読む	
	4	農業の生産			19	地形図の読図：土地利用の変化を読む	
	5	工業の生産			20	地形図の読図：土地利用と土地の特性を読む	
	6	流通・交通の地理			21	空中写真の判読：土地の形状と土地利用	
	7	生活行動の地理			22	空中写真の判読：土地の特性と履歴	
	8	都市の地理			23	統計データの図化：等級区分図	
	9	村落の地理			24	統計データの図化：人工ピラミッド	
	10	人口の地理			25	統計データの図化：人口構成を図化	
	11	社会・福祉の地理			26	フィールドワーク（高千穂町土呂久） 1	
	12	生活文化・民俗の地理			27	フィールドワーク（高千穂町土呂久） 2	
	13	不平等の地理			28	GIS 実習：ハザードマップの読み取り	
	14	環境・エネルギーの地理			29	GIS 実習：ひなた GIS の利用	
	15	まとめ			30	GIS 実習：統計地図の作成	
授業外学修 (事前学修)	指定教科書のうち，次回講義内容の当該箇所を読んで，そこに出てくる重要な用語（ターム）の意味を事前に調べ，講義に臨む．（毎週 1 時間程度）						
授業外学修 (事後学修)	講義中に実施する統計解析や地図の課題について，その解析や地図から新たに分かることを小レポートにして提出する．（90 時間程度）						
成績評価方法・評価比率・到達目標との対応	成績評価方法					評価比率	到達目標との対応
	予習チェック 小レポート 定期試験（講義の理解度）					30% 40% 30%	① ①，②，③ ①，②，③
成績評価の基準	秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合						
教科書	高等学校検定教科書『高等学校 新地理総合』、『新詳 地理探究』ともに帝国書院．						
参考文献	上野和彦・椿真智子・中村康子編（2015）：『地理学基礎シリーズ 3 地理学概論 第二版』，朝倉書店，ISBN 4254168195						
その他	地形図読図，統計解析や図化の実習も行う．指定した回にはパソコンと色鉛筆を持参．地図図化した資料をもとに小レポートを課す．講義内で日フィールドワークを実施する．フィールドワークの詳細は追ってお知らせします．						